

科目名	卒業制作2							年度	2026
英語科目名	Graduation production 2							学期	後期
学科・学年	情報処理科 2年次	必/選	必	時間数	180	単位数	6	種別※	実習
担当教員	澁川、木下		教員の実務経験	有	実務経験の職種		システムエンジニア（澁川）、プログラマ（木下）		
【科目の目的】									
<p>学科で学んださまざまな知識や技術を基に、目的を持ったアプリケーションやシステムを制作します。グループごとに作業に取り組みながら、自分が必要なことを学び、他のメンバーと協力していきます。このプロセスを通じて、社会人として大切な協調性やコミュニケーション力を身につけることが目指されます。また、プロジェクトを進める中で、スケジュール管理や課題管理、情報管理を意識し、各自の作業状況を把握しながら、実務に近い開発体験を行うことを目的としています。</p>									
【科目の概要】									
<p>グループを作成し、テーマを一つ決めて目的を持った作品を制作します。前期の卒業制作1では、実装する機能やメンバーの役割分担、スケジュールなどを主に決定します。そして、後期のこの科目では、設計書を作成し、プログラミングを中心に行います。</p>									
【到達目標】									
<p>学んだ知識や技術を集約し、グループで協力しながら一つの作品を制作し、卒業展で発表することを目指します。一人で作業するだけでなく、他のメンバーとの協力や連携を意識し、スケジュール通りに作業を進められるようになります。コミュニケーションの重要性を理解し、自分のことだけでなく、他のメンバーの状況を確認しながら、必要に応じて軌道修正を行い、作業を進めることができるようになります。また、作業期間が限られているため、期間内に設定された目標を達成する能力も身につけることができます。</p>									
【授業の注意点】									
<p>授業の始めにグループを作成し、そのグループでテーマを決めて、最後まで作業を進めます（途中でのグループ変更はできません）。授業に必要な資料は、グループ全体で準備してください。計画や役割分担はしっかりと行い、メンバー間でバランスを取りながら進めましょう。評価はグループ単位で行われるため、各メンバーが責任を持って作業に取り組むことが大切です。また、総授業時間の4分の3以上出席していない場合、成績評価は行われません。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	グループワークに必要な協調性を身につけている		グループワークに必要な協調性の重要度を理解している					グループワークに必要な協調性を身につけていない	
到達目標 B	グループワークに必要なコミュニケーション力を身につけている		グループワークに必要なコミュニケーション力の重要性を理解している					グループワークに必要なコミュニケーション力を身につけていない	
到達目標 C	目標達成に向けた計画を立案する能力を身につけている		目標達成に向けた計画を立案する能力の重要性を理解している					目標達成に向けた計画を立案する能力を身につけていない	
到達目標 D	グループで意見を出し集約する方法を身につけている		グループで意見を出し集約する方法の重要性を理解している					グループで意見を出し集約する方法を身につけていない	
到達目標 E	計画通りのアプリケーションを制作できる実装力を身につけている		計画したアプリケーションを部分的に制作できる実装力を身につけている					アプリケーションを制作できる実装力を身につけていない	
【教科書】									
各グループに必要な資料は、それぞれのメンバーが用意してください。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
<p>作品全体を総合的に評価します。 各自またはグループの作業内容に関する報告書の内容と提出状況の評価します。 中間発表、最終発表、卒業展での展示について評価します。 授業への積極的な参加や態度を評価します。</p>									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		卒業制作2			年度	2026
英語表記		Graduation production 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スケジュールの説明と設定	今後のスケジュールを確認し、グループと個人のスケジュールを設定できる	1 全体計画決め	プロジェクト全体の計画を決定する	3	
			2 個別計画決め	役割ごとの計画を決定する		
2	グループごとに作業(1)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
3	グループごとに作業(2)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
4	グループごとに作業(3)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
5	グループごとに作業(4)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
6	グループごとに作業(5)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
7	グループごとに作業(6)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
8	グループごとに作業(7)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
9	グループごとに作業(8)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
10	グループごとに作業(9)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
11	グループごとに作業(10)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
12	グループごとに作業(11)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
13	グループごとに作業(12)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1 全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2 個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3 技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
14	プレゼンテーション(1)	ここまでの作業状況を資料にまとめ、グループごとに発表を行う	1 発表資料の作成	資料にもとづきプロジェクトについて発表する	3	
			2 発表の聴講	聴講する姿勢を理解する		
			3 発表資料の改善	他チームの発表を聞き、自己の発表内容を改善する		
15	プレゼンテーション(2)	ここまでの作業状況を資料にまとめ、グループごとに発表を行う	1 発表資料の作成	資料にもとづきプロジェクトについて発表する	3	
			2 発表の聴講	聴講する姿勢を理解する		
			3 発表資料の改善	他チームの発表を聞き、自己の発表内容を改善する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等